

現場の声を最大限拾って

県民の日・皆勤賞・校務支援システムetc.

越教組ニュース

越谷市教職員組合
ホームページ



6月30日に行った市教委交渉の報告です。市教委側からは、教育長ほか20名余りが参加しました。越教組の要望に、理解はするが調査・検討するという回答が多く、現場の声を吸い上げて、ぜひ一刻も早い対応を望みたいものです。

県民の日、日直なしに

【組合】県民の日をお盆などと同じように、日直を置かない日にできないか。

【市教委】越谷市立小中学校管理規則第三条(三)において、県民の日を定める条例に規定する日を学校における休業日と定めている。県民の日を学校閉庁日として日直

を置かないことについては、メリット・デメリットを調査研究していく。

【組合】県内にも、すでに日直を置いている自治体がある。

【市教委】承知している。情報を収集して調査研究していきたい。

形ばかりの労安体制はだめ

【組合】50人以上の学校に配置されている10校の産業医は、ほとんど活動していない。委託料(税金)をもらって活動していないのは問題。決められた職務をきちんと果たすように指導すべき。また、毎月の衛生委員会も開催されていない状況だ。(裏面参照)

【市教委】昨年度は、言われるような状況だったので、今年度は、該当校

の校長には、学校訪問の際、「産業医を配置します。確実に月1回の衛生委員会を開いてください」と話をしている。

【組合】4つの提案をした。①産業医に本来の仕事をしてもらう。②産業医には、近隣の学校もカバーしてもらおう。③教職員向けメンタルカウンセラーを付ける。④学校衛生委員会を活性化させる。

【市教委】①産業医の活動

については、衛生委員会への参加や職場巡視は、まだまだの現状がある。先進的な取り組みをしている学校から情報提供をもらって取り組みたい。

【各校に配置している健康管理医を十分に活用してほしい。③メンタルカウンセラーについては、ストレスチェックや健康相談を十分に活用してほしい。④5月に研修会を実施した。それらを活かせるように引き続き指導していく。

皆勤賞はいらない

【組合】皆勤賞は時代にとぐわらない。保護者とのトラブルのもとにもなっている。廃止してほしい。今止める決断をして、急には止められない



【市教委】学校ではいろいろな課題があるという。ことは承知している。しかし、6年間元気に通えたということは、その子にとっては賞賛すべきこと。今後のあり方については、調査・研究をしていく。

【組合】令和6年度末までに、月四五時間、年三六〇時間以上になる教員を0%にするという目標を掲げている。越谷市は、期限を切っていないが県目標達成をめざすのか。

【市教委】越谷市は、いつまでと期限は切っていないが、県の目標達成に

校務支援システムは更に改善を

【組合】学校日誌への行事や出張の記録など、書きとほとんど変わらない。週報や日報から、取り込めるようにしてほしい。担任からすると、欠席理由の選択項目が少なく手入力すると、学期末や要録でまた手入力になる。改善してほしい。

【市教委】学校から要望が出て、直せるものについては随時対応している。また平成30年度、令和2年度は、毎年度末にアンケートを取り、およそ九〇〇件の要望が出ている。そのうち対応済みが31%、助言で対応が8%、検討33%、不可能13%、その他15%。今後について、直せる所はすぐに対応する。また、令和9年度のシステム更改に向け、全教職員から意見を吸い上げること検討している。学校日誌との連携や欠席理由の記入などの改善要望は、こちらでも把握している。改善できるものは改善していきたい。



働き方改革 県目標の達成を

【組合】期限を切っている県目標の達成を明言しなのであれば、越谷市は県目標未達成でもかまわないというのと同じだ。

【市教委】期限を切っていないから目標を達成できなくていいというふうには考えていない。

給食費事務は丁寧な説明を

【組合】来年度から市の徴収となるが、学校事務職との分担など丁寧な説明をしてほしい。

【市教委】9月末までには、説明会を実施する。未納への督促なども市の給食課で行う予定。

【組合】就学援助との関係や要保護世帯との関係